

高齢者に多い消費者トラブル例

最近の消費者被害情報

1

見知らぬ事業者から「平成から年号が変わる。天皇陛下のアルバムを買わないか」と電話があり、皇室に興味があったので、話を聞いてしまった。最終的に断ったのに一方的に自宅にアルバムが配送され、受け取ってしまった。

対応のポイント

・天皇陛下の退位に便乗して、アルバム等の購入を電話で持ち掛けられたとの相談が寄せられています。購入の意思がない場合は、はっきりと断り、注文していない商品が届いた場合は、代金を支払わず受け取り拒否しましょう。

2

NHKを名乗る者から電話があり、世論調査と称して、年金の受給状況や預金残高を聞き出そうとする電話があった。

対応のポイント

・NHKの世論調査では、個人情報を知る内容はないので、不審に思った場合は、電話をいったん切り、NHKや消費生活センターに問い合わせください。

3

宅配業者より「お客様宛にお荷物のお届けにあがりましたが不在の為持ち帰りました。郵送物は<http://〇〇〇〇>を確認してください。」とメールが届いた。

対応のポイント

・宅配業者を装った迷惑メールですので、記載されているアドレスにアクセスするとコンピューターウイルスに感染する恐れがあります。記載されているアドレスにアクセスしたり、添付ファイルを開いたりしないでください。

4

不用品を回収してもらおうと、チラシに「3万円くらいと」書かれていたため業者に依頼したが、実際には30万円請求された。

対応のポイント

- ・チラシに書かれた金額が作業の代金とは限りません。事前に見積もりを取り、追加料金がないか確認してください。複数の業者から見積もりを取ることも大切です。

5

「どこか体に悪いところはないか」と電話があり、「腰が悪い。」と伝えると、「もみ方の指導に行く」と言われ、電気治療器の体験をさせられ、断り切れず38万円で契約をしてしまった。

対応のポイント

- ・健康に関する課題を持ちかけたり、器具を試させたりしながら近づいてくる事業者もいますので注意してください。

6

携帯電話に「1億円の分配金がもらえる。」とメールが届いた。そのサイトにアクセスすると、運営会社から受取手数料を要求され、コンビニで5万円分の電子マネーを購入し、番号を教えた。

対応のポイント

- ・電子マネーを購入させる手口の詐欺が増えていますので注意してください。